# Apple

**Managed Apple Account**
*name@company.com*
iPhone、iPad、Mac
QR
Cerberus Enterprise

# 2

- **User Enrollment**
  Cerberus
  iOS
  iPadOS 15
  macOS 14
- **Device Enrollment**、Apple Business
  Mac
  iPhone
  iPad
  iOS
  iPadOS 17.1
  macOS 14.1

> iPhone
> iPad、Mac
> iPhone
> User Enrollment、Mac
> Device Enrollment

> Apple Management、APNs
> APNs
> **Apple Management**
> **APNs**、

# Apple Business

Apple Business
Managed Apple Account

1. Apple Business
   *company.com*

2. **Managed Apple Account** Apple Business Google Workspace Microsoft Entra ID
3. User Enrollment Managed Apple Account User Enrollment
4. **Apple Business** **Devices → Management Services → Default Device Assignment** Edit iPhone iPad Mac Cerberus Enterprise

> Managed Apple Account Cerberus Enterprise Apple Business

# Cerberus Enterprise

## 

**Apple**

- *company.com* 20
- **iPhone** **iPad** **Mac** User Enrollment Device Enrollment
- Cerberus Enterprise

> **Managed Apple Account** Managed Apple Account Cerberus

で確認されていなくても登録できます。たとえば、 Apple Business の予約ドメイン org.appleid.com
のアカウントです。 Apple Business のサービス検出を使用する場合、ユーザーは常に Managed
Apple Account を入力します。

ドメインを確認する

設定を保存すると、 ドメインの確認 セクションに各ドメインの TXT
レコードが表示されます。それをドメインの DNS に追加し、 確認 をクリックします。 DNS
の変更が反映されるまでに時間がかかる場合があります。確認済みのドメインは確認済みのままです。後で
レコードを削除できます。確認されていないドメインのユーザーは登録できません。

サービス検出：デバイスが Cerberus

Enterprise を検出する方法
ユーザーがサインインすると、デバイスはアカウントのドメイン（例： https://company.com ）に、どのサーバーが管理しているかを問い合わせます。次の 3つのオプションのうち少なくとも 1
つを設定してください。タブの サービス検出 セクションには、組織の検出 URL
と、各オプションでコピーする正確なテキストが表示されます。

オプション 1：Apple Business（推奨）
Apple Business に登録 をクリックします。 Cerberus Enterprise は検出 URL を Apple Business
組織に保存し、ドメインに何も公開する必要はありません。 Apple Business で確認 をクリックすると、 Apple Business が現在保持している URL が表示され、 Apple Business から削除
をクリックすると削除されます。

iOS および iPadOS 18.2 以降、または macOS 15.2
以降が必要です。古いデバイスではオプション 2 または 3 が必要です。
Cerberus Enterprise で Apple Business が接続されていること（ Automated Device
Enrollment サービス トークン）、および上記のデフォルトのデバイス割り当てが必要です。
デバイスは、ドメインが応答しない場合にのみ Apple Business に問い合わせます。アドレス https://company.com/.well-known/com.apple.remotemanagement は存在してはなりません（「見つかりません」などのエラー）。 Web サイトが Web
ページで応答すると、デバイスはそこで停止します。 構成を確認
を使用して、応答内容を確認してください。

Apple Business は組織ごとに 1つの検出 URL を保持します。登録すると、組織のすべての Managed Apple Account がこの Cerberus Enterprise 組織に送信されます。同じ Apple Business

組織を使用する 2つの Cerberus Enterprise 組織から登録しないでください。

オプション 2：Web

サイトからのリダイレクト

各ドメインの Web サーバーで、 /.well-known/com.apple.remotemanagementを組織の検出 URL
にリダイレクトし、 クエリ文字列を保持
します（ユーザーが入力したアカウントが含まれています）。これは、アカウント主導の登録をサポートす
るすべての OS バージョンで機能し、 iPhone と Mac で異なるモードを使用できます。タブから Apache
または nginx 用のテキストをコピーしてください。組織のキーを含めると、次のようになります。

Apache（.htaccess または仮想ホスト）：

RewriteEngine On
RewriteRule ^\.well-known/com\.apple\.remotemanagement$ https://enterprise.cerberusapp.com/account-enroll/YOUR-KEY/discovery [R=302,L,QSA]

nginx：

location = /.well-known/com.apple.remotemanagement {
return 302 https://enterprise.cerberusapp.com/account-enroll/YOUR-KEY/discovery$is_args$args;
}

他の Web サーバーまたはサービス（ IIS、Cloudflare
、ホスティングコントロールパネルなど）では、同じパスから検出 URL へのリダイレクトルール（ 302 ）を、クエリ文字列を保持または転送するオプション付きで作成します。

オプション 3：Web サイト上の静的ファイル
リダイレクトを追加できない場合は、 https://company.com/.well-
known/com.apple.remotemanagement（ファイル拡張子なし）にファイルを公開し、 Content-Type: application/json
で配信します。その内容はタブからコピーしてください。静的ファイルではデバイスごとにモードを選択で
きません。 iPhone、iPad、 Mac で同じモードを使用します。 User Enrollment
の場合は次のようになります。

{"Servers":[{"Version":"mdm-byod","BaseURL":"https://enterprise.cerberusapp.com/account-enroll/YOUR-KEY/byod"}]}

Device Enrollment の場合は次のとおりです。

```
{"Servers":[{"Version":"mdm-adde","BaseURL":"https://enterprise.cerberusapp.com/account-enroll/YOUR-KEY/adde"}]}
```

> ファイルのモードは、タブでデバイスファミリーに設定されたモードと同じである必要があります。
> そうでない場合、登録は拒否されます。

## 構成を確認

構成を確認 で、ドメインとデバイス（ iPhone または Mac）を選択し、 確認 をクリックします。 Cerberus Enterprise は、デバイスが問い合わせる内容をドメインに問い合わせ、応答、各リダイレクト、判定を表示します。ドメインが Cerberus Enterprise を指している場合は、オプション 2 または 3 が機能します。エラー応答（「見つかりません」など）はオプション 1 で問題ありません。 Web ページまたは別の場所を指すファイルは、デバイスを停止させます。また、リダイレクトがクエリ文字列を削除した場合や、ファイルが *application/json*として配信されていない場合にも警告が表示されます。

## 登録キー

検出 URL と登録 URL には、組織のキーが含まれています。 URL が誤って公開された場合は、 キーを再生成 をクリックしてください。古い URL はすぐに機能しなくなるため、 Web サイトのリダイレクトと静的ファイルを更新してください。オプション 1 を使用している場合、 Cerberus Enterprise は新しい URL を自動的に Apple Business に登録します。

# ユーザーが登録する方法

1. iPhone と iPad: 設定 → 一般 → *VPN* とデバイス管理 → 職場または学校のアカウントでサインイン 。Mac: システム設定 → 一般 → デバイス管理 → サインイン （ macOS 14: プライバシーとセキュリティ → プロファイル → サインイン ）。
2. Managed Apple Account、または Cerberus のユーザーの仕事用メールアドレス（例: *name@company.com*）を入力します。ユーザーの Managed Apple Account が入力したものと異なる場合、デバイスはそのアカウントでのサインインを求めます。
3. Cerberus Enterprise のページが開きます。 コードを送信 をタップし、メールで受け取った 6 桁のコードを入力します。コードは 10分後に期限切れになります。 5 回間違えると、ユーザーはページを閉じて再度サインインする必要があります。
4. Managed Apple Account のパスワード（または Apple Business が Google Workspace や Microsoft Entra ID に接続されている場合は会社のサインインページ）でサインインし、デバイス管理を許可します。

> 

登録できないアカウント（ドメインが確認されていない、ユーザーが自動作成されない設定で一致す
るユーザーがいない、同じメールアドレスのユーザーが複数いる）には、「このアカウントは登録用
に設定されていません。 IT
管理者に問い合わせてください」と表示されます。イベントはダッシュボードのシステムログに記録
されます。

登録後
デバイスページには、登録に使用した Managed Apple Accountと登録タイプ（ User
Enrollment またはアカウント主導の Device Enrollment
）が表示されます。デバイスリストでは、 User Enrollment デバイスに「 User Enrollment
」と表示されます。
User Enrollment デバイスでは、 Apple
が許可しないコマンドやポリシー設定（消去、位置情報、紛失モード、 OS
アップデート、多くの制限）は提供されず、送信されません。ポリシーの App Store
アプリは、デバイスライセンスではなくユーザーライセンスを使用します（下記の
個人デバイス上のアプリ を参照）。
User Enrollment デバイスでは、 Web クリップはホーム画面に表示されますが、 設定 → 一般 →
VPNとデバイス管理 には表示されません。
これらのデバイスの MDM 証明書は自動的に更新されず、 Return to Service
は利用できません。 MDM 証明書が期限切れになる前（登録から 1
年後。デバイスページを参照）に、ユーザーにデバイスの再登録を依頼してください。
管理を離れるには、ユーザーが設定の同じ場所で仕事用アカウントからサインアウトするか、
Cerberus Enterprise からデバイスを登録解除します。 User Enrollment では仕事用のアプリ、アカウント、データのみが削除され、個人データは残ります。再登録したデ
バイスは新しいデバイスとして表示されます。

登録直後、ポリシーの一部のプロファイル (証明書、 Wi-Fi ネットワーク、 Web クリップ)
が不明なエラーで失敗として報告され、デバイスがしばらく コンプライアンス違反
と表示されることがあります。デバイスは自動的に再試行し、しばらくすると何も操作しなくてもイ
ンストールされます。このため、ポリシーを再度保存したり、デバイスを再登録したりしないでくだ
さい。

個人デバイス上のアプリ
User Enrollment で登録された iPhone および iPad にはシリアル番号がないため、 Apps and Books
はデバイスライセンスを付与できません。 Cerberus Enterprise は、ポリシーの App Store
アプリに代わりに ユーザーライセンス を付与します。ライセンスは、デバイスでサインインしている
Managed Apple Account
に付与されます。ポリシーに変更はありません。同じポリシーが会社のデバイスと個人のデバイスに使用さ

れ、 Cerberus がデバイスごとにライセンスの種類を選択します。

自動 ：最初の登録時に、 Cerberus は Managed Apple Account を Apps and Books
に登録し、ポリシーの各 App Store アプリのライセンスを Apple
に要求します。無料アプリにもライセンスが必要です。 Apple
は無料アプリに無制限のライセンスを付与します。有料アプリは Managed Apple Account ごとに
1つのライセンスを使用し、そのアカウントのすべての個人デバイスで共有されます。
同じ組織 ： Managed Apple Account と Cerberus Enterprise の Apps and Books
トークンは同じ Apple Business
組織に属している必要があり、アプリはトークンの場所のライブラリに存在する必要があります。
ライセンス優先 ：アプリは、 Apple
がライセンスを確認した後にのみデバイスに送信されます。通常は数分以内です。それまでは、デ
バイスの アプリケーション パネルに ユーザーライセンスを待機しています
と理由が表示されます。
インストール プロンプト : 個人デバイスは監督されないため、 iOS
は各アプリをインストールする前にユーザーに確認します。これには、 Cerberus がこれらのデバイスにもインストールする Cerberus Enterpriseアプリが含まれます (
インストール または キャンセル )。Apple Account
へのサインインは不要です。ユーザーがキャンセルした場合、アプリには
ユーザーによるインストールの承認を待機中 と表示されます。デバイス ページで 再要求を使用して、プロンプトを再度表示してください。 必須
としてインストールされたアプリは、ユーザーが削除できません。
登録前にインストールされたアプリ ：Apple は、 User Enrollment で登録されたデバイスにユーザーが個人的にインストールしたアプリを組織が引き継ぐことを許可していません。登録前にユーザーに自分のコピーを削除してもらうか、削除してからデバイスペー
ジで 再リクエスト を使用してください。その後、組織が管理対象のコピーをインストールします。
管理を離れる場合 ：デバイスの登録が解除されると、 iOS
は管理対象アプリとそのデータを削除します。ライセンスは、同じ Managed Apple Account
の他の登録済みデバイスがそれを必要としなくなったときに解放されます。たとえば、アプリがポ
リシーから削除された場合や、最後のデバイスが登録解除された場合です。不要になったライセン
スは、毎日のチェックで 1日以内に解放されます。

Apple
がライセンスを割り当てられない場合（たとえば、有料アプリに残りのライセンスがない場合）、ア
プリには Apple のメッセージとともに ユーザーライセンスに失敗しました が表示されます。 Apple Business でライセンスを追加してから、デバイスページで 再リクエスト を使用してください。
Cerberus も毎日のチェックで自動的に再試行します。アプリリストの上の行には、 Managed Apple Account とその Apps and Books
ユーザーのステータスが表示されます。同じステータスはユーザーのページにも表示されます。

ユーザーライセンスは iPhone と iPad でのみ使用されます。 User Enrollment で登録された Mac
では、ポリシーの App Store アプリはインストールされません。 Books と個人用 Apple Account
はサポートされていません。

Revision #6
Created 2026-11-10 15:16:23 UTC by Admin
Updated 2026-11-12 09:56:05 UTC by Admin